## 平成 30 年度 事務事業評価シート

## 事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	県営地すべり対策事業負担金	会計名称				_	·般会計		担当課	農林水産課					
尹仍尹未乜	<b>州西地り、リカ州寺未兵担立</b>	予算科目	6 }	次 1	項 13	皿	事業番号	所属長名	角田栄治						
事業評価の有無	□評価対象事業	Ⅰ 評価対象外事業	(事業の	概要・結	吉果のみ)				担当責任者名		中海	一賢一			
法令根拠等	地すべり等防止法									【開始】	平成	17	年度		
総合計画での	快適空間都市の創造		実 施 期 間	【終了】	平成		年度(予定)								
位置付け	安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり ■ 設定											設定なし			
総合計画における 本事業の役割	ta 魅力ある農業の振興														
事業の対象	地すべり等防止法第3条により指定された地すべり防止区域で総事業費7千万円以 上 事業の目的 地すべりから農地・農業用施設を守り、農業基盤を維持し人家の破壊・埋没等の人 命の危機を排除し、民生の安定に資すること。														
事業の内容 (整備内容)	県営事業実施に伴う愛媛県土地改良事業団体連合会及び伊予市伊予郡土地改良事業 協議会への負担金支出 義務的経費の支出事務のため														

## 事業活動の内容・成果 (DO)

			事	当	É	費	及	び	財	·	亰	内	訳	(	千	円	)			事	業	活	動	の	実	績	(	活 動	指	標	)	
	項	Į			目	前	[年度決算	1	当初予	算額	補正	予算額	継続	費その他	翌年	F度繰越	決算	類		項	目		単	单位 2	29 年	度実績	30	年度予定	9月末	の実績	30	年度実績
直	Ī.	接	事	業	費		18	85		0		25	4	0		0		138														
		国	庫	支出	金					0			0	0		0		0								0						
財源		県	支	出	金					0			0	0		0		0														
源内		地		方	債					0			0	0		0		0														
訳		そ		の	他					0		(	0	0		0		0								0						
		_	般	財	源		18	85		0		25	4	0		0		138														
ಾ	員(	0人:	エ(	にん	く)数		0.0	80		0.08								0.08														
1)	エノ	当た	りの	人件	費単価	Б	8, 0	17		7, 982								7, 982								0						
×	( I	直接	事業	費+.	人件費		82	26		639								777														
		主な	実施	主体	τ.	直拍	接実施				実施理料	形態(补 ・委託#	補助金 料等の記	• 指定管 記載欄)																		
	向こう5年間の直接事業費の推移								31	年度		32	年度		33 4	年度		34	年度		35 年	度	5年	間の台	計							
						H] C	- フゥギョ	(T	但接事 F円)	未買り	71任1多						30	60														360

## 事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任 者)	事業の成果	県営事業実施における愛媛県土地改良事業団体連合会、伊予市信	尹予郡土地改良協議会	会の負担金支出にあたり、関係者等と連携し、適切な事務実施を行った。
		■ 事業継続と判断する。		本事業は、地すべり対策として実施される県営事業に伴う県土地改良事業団体連合会と伊予市伊予郡
一次判定	事業の 方向性	□ 事業縮小と判断する	判断の理由	土地改良事業協議会への負担金等義務的経費の支出事務であり、なお効果的な執行に努めるのみであ
		□ 事業廃止と判断する		ることから評価事業とはしないが、その効用は認められるため継続と判断する。

	■ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
		に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
二次判定		
	□ 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
	<b>ж</b> нон <del>-</del>	
	答申の内容	
行政評価委員会の答申		
外 部 評 価		
今後の方向性 (ACTION)		
<b>分談の分別門上(MOTTON)</b>	事業の方向性コメント欄	
	□ さらに重点化する。	
4- W -4 A -44	■ 現状のまま継続する。	
経営者会議 の最終判断	□ 右記の点を見直しの上、継続する。	
	事業の縮小を行う。	
the state of the s		